決　算　報　告　書

自　　平成　３１　年　４月　　１日
至　　令和　　２　年　３月　３１日

特定非営利活動法人　フォレストサイクル元樹

電話番号　　０９０-９６３１-１６１０
住　　所　　宮城県栗原市若柳上畑岡大立85-3

法人名：　特定非営利活動法人フォレストサイクル元樹

活動計算書

2019 年 4 月 1 日 から 2020 年 3 月 31 日 まで

（単位：円）

科　目	金　額		
Ⅰ 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	90,000	90,000	
2. 受取助成金等			
受取国庫補助金	5,655,000	5,655,000	
3. 事業収益			
森林整備保全事業収益	4,524,190		
間伐材工房運営事業収益	1,858,711		
木質バイオマス普及事業収益	884,800		
木育等木づかい普及事業収益	30,000	7,297,701	
4. その他収益			
受取利息	3		
雑収益	236,466	236,469	
経常収益計			13,279,170
Ⅱ 経常費用			
1. 事業費			
(1)人件費			
給料手当	4,146,000		
法定福利費	471,333		
人件費計	4,617,333		
(2)その他経費			
業務委託費	2,965,459		
旅費交通費	602,334		
通信運搬費	2,838		
消耗品費	1,451,640		
修繕費	76,740		
水道光熱費	815,343		
地代家賃	1,850,000		
賃借料	500,000		
減価償却費	210,718		
保険料	105,870		
諸会費	12,000		
租税公課	93,900		
研修費	15,300		
支払手数料	46,223		
雑費	110,092		
その他経費計	8,858,457		
事業費計		13,475,790	
2. 管理費			
(1)人件費			
給料手当	744,000		
法定福利費	111,404		
福利厚生費	55,929		
人件費計	911,333		
(2)その他経費			
旅費交通費	800		
通信運搬費	421,613		
消耗品費	70,476		
保険料	2,590		
支払手数料	1,220		
支払利息	16		
雑費	13,500		
その他経費計	510,215		
管理費計		1,421,548	
経常費用計			14,897,338
当期正味財産増減額			△ 1,618,168
前期繰越正味財産額			△ 10,218,979
次期繰越正味財産額			△ 11,837,147

法人名：　特定非営利活動法人フォレストサイクル元樹

貸借対照表

2020 年 3 月 31 日 現在

(単位:円)

科　目	金　額		
Ⅰ 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	△ 238,962		
未収金	0		
棚卸資産	0		
前渡金	0		
立替金	0		
前払費用	0		
未収収益	0		
仮払金	0		
預け金	0		
役員貸付金	0		
流動資産合計		△ 238,962	
2. 固定資産			
(1)有形固定資産			
建物	0		
附属設備	0		
構築物	127,197		
機械装置	663,839		
車両運搬具	3,673,324		
工具器具備品	66,150		
一括償却資産	0		
土地	0		
有形固定資産計	4,530,510		
(2)無形固定資産			
ソフトウェア	0		
無形固定資産計	0		
(2)投資その他の資産			
出資金	0		
敷金	0		
差入保証金	0		
長期前払費用	0		
投資その他の資産計	0		
固定資産合計		4,530,510	
資産合計			4,291,548
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	0		
短期借入金	0		
未払金	367,666		
未払費用	0		
未払法人税等	0		
未払消費税等	0		
前受金	0		
預り金	24,590		
前受収益	0		
仮受金	0		
役員借入金	11,656,439		
流動負債合計		12,048,695	
2. 固定負債			
長期借入金	4,080,000		
固定負債合計		4,080,000	
負債合計			16,128,695
Ⅲ 正味財産の部			
前期繰越正味財産		△ 10,218,979	
当期正味財産増減額		△ 1,618,168	
正味財産合計			△ 11,837,147
負債及び正味財産合計			4,291,548

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日　2017年12月12日最終改正　NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1)　棚卸資産の評価方法

棚卸資産は低価法により評価しています。原価は平均法により算出しています。

(2)　固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却をしています。

無形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定額法で償却をしています。

(3)　貸倒引当金の計上基準

貸倒引当金は、過去の実績、および滞留状況を基準に計上しています。

(4)　施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理

施設の提供等の物的サービスを受入れは、活動計算書に計上しています。また計上額の算定方法は「3. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳」に記載しています。

(5)　ボランティアによる役務の提供

ボランティアによる役務の提供は、「4. 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳」として注記しています。

(6)　消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

(単位:円)

科　目	森林整備保全事業	間伐材工房運営事業	木質バイオマス普及事業	木育等木づかい普及事業	事業部門計	管理部門	合計
Ⅰ　経常収益							
1.　受取会費	0	0	0	0	0	90,000	90,000
3.　受取助成金等	5,155,000	500,000	0	0	5,655,000	0	5,655,000
4.　事業収益	4,524,190	1,858,711	884,800	30,000	7,297,701	0	7,297,701
5.　その他収益	72,932	48,648	4,505	0	126,085	110,384	236,469
経常収益計	9,752,122	2,407,359	889,305	30,000	13,078,786	200,384	13,279,170
Ⅱ　経常費用							
(1)　人件費							
給料手当	0	4,146,000	0	0	4,146,000	744,000	4,890,000
法定福利費	85,108	386,225	0	0	471,333	111,404	582,737
福利厚生費	0	0	0	0	0	55,929	55,929
人件費計	85,108	4,532,225	0	0	4,617,333	911,333	5,528,666
(2)　その他経費							
業務委託費	2,500,915	214,544	250,000	0	2,965,459	0	2,965,459
旅費交通費	337,622	240,694	18,897	5,121	602,334	800	603,134
通信運搬費	1,060	1,778	0	0	2,838	421,613	424,451
消耗品費	857,861	577,749	16,030	0	1,451,640	70,476	1,522,116
修繕費	76,740	0	0	0	76,740	0	76,740
水道光熱費	45,946	769,397	0	0	815,343	0	815,343
地代家賃	170,000	1,680,000	0	0	1,850,000	0	1,850,000
賃借料	500,000	0	0	0	500,000	0	500,000
減価償却費	126,666	84,052	0	0	210,718	0	210,718
保険料	70,340	35,530	0	0	105,870	2,590	108,460
諸会費	12,000	0	0	0	12,000	0	12,000
租税公課	54,300	39,600	0	0	93,900	0	93,900
研修費	15,300	0	0	0	15,300	0	15,300
支払手数料	22,015	23,988	220	0	46,223	1,220	47,443
支払利息	0	0	0	0	0	16	16
雑費	107,392	2,700	0	0	110,092	13,500	123,592
その他経費計	4,898,157	3,670,032	285,147	5,121	8,858,457	510,215	9,368,672
経常費用計	4,983,265	8,202,257	285,147	5,121	13,475,790	1,421,548	14,897,338
当期経常増減額	4,768,857	△ 5,794,898	604,158	24,879	△ 397,004	△ 1,221,164	△ 1,618,168

3. 固定資産の増減内訳

固定資産の増減は以下の通りです。

(単位:円)

科　目	期首取得価額	取得	期首帳簿価格	当期減価償却額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
構築物	400,000		148,249	21,052	△ 272,803	127,197
機械用動力設備	400,000		148,249	21,052	△ 272,803	127,197
機械装置	3,200,000	562,424	725,744	61,905	△ 3,098,585	663,839
スライドソー	2,300,000		118,320	3,320	△ 2,185,000	115,000
自動一面かんな盤	250,000		12,500		△ 237,500	12,500
手押しかんな盤	250,000		12,500		△ 237,500	12,500
超仕上げかんな盤	250,000		12,500		△ 237,500	12,500
角のみ盤	150,000		7,500		△ 142,500	7,500
木玉製造機		562,424	562,424	58,585	△ 58,585	503,839
車両運搬費		3,799,990	3,799,990	126,666	△ 3,673,324	3,673,324
いすゞエルフ1.5t		3,799,990	3,799,990	126,666	△ 3,673,324	3,673,324
工具器具備品	1,323,000		67,245	1,095	△ 1,256,850	66,150
スライドソー用三角定規	160,000		8,230	230	△ 152,000	8,000
簡易製材機	600,000		30,865	865	△ 570,000	30,000
手動ウィンチ	126,000		6,350		△ 119,700	6,300
チェンソー	127,000		6,300		△ 120,650	6,350
デモ用薪ストーブ	200,000		10,000		△ 190,000	10,000
事務用パソコン	110,000		5,500		△ 104,500	5,500

4. 借入金の増減内訳

借入金の増減は以下の通りです。

(単位:円)

科　目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
短期借入金(岩泉町森林組合:杉山)	0	1,916,915	1,916,915	0
長期借入金(政策金融公庫:仙台)	0	3,080,000	0	3,080,000
長期借入金(政策金融公庫:一関)	0	1,000,000	0	1,000,000
役員借入金	11,343,227	3,630,000	3,316,788	11,656,439

法人名：　特定非営利活動法人フォレストサイクル元樹

財産目録

2020 年 3 月 31 日 現在

(単位：円)

科　目	金　額		
Ⅰ 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手元現金	△ 628,311		
ゆうちょ(法人：末尾91)	111,879		
ゆうちょ(法人：末尾51)	277,440		
ゆうちょ(法人：末尾81)	30		
流動資産合計		△ 238,962	
2. 固定資産			
(1)有形固定資産			
構築物			
機械用動力設備	127,197		
機械装置			
スライドソー	115,000		
自動一面かんな盤	12,500		
手押しかんな盤	12,500		
超仕上げかんな盤	12,500		
角のみ盤	7,500		
木玉製造機	503,839		
車両運搬具			
いすゞエルフ1.5t	3,673,324		
工具器具備品			
デモ用薪ストーブ	10,000		
事務用パソコン	5,500		
チェンソー	6,350		
手動ウィンチ	6,300		
スライドソー用三角定規	8,000		
簡易製材機	30,000		
固定資産合計		4,530,510	
資産合計			4,291,548
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
未払金			
アメリカン・エキスプレス	367,666		
預り金			
源泉所得税	24,590		
役員借入金			
理事1名	11,656,439		
流動負債合計		12,048,695	
2. 固定負債			
長期借入金			
政策金融公庫仙台支店	3,080,000		
政策金融公庫一関支店	1,000,000		
固定負債合計		4,080,000	
負債合計			16,128,695
正味財産			△ 11,837,147

事　業　報　告　書

自　　平成　３１　年　４月　　１日
至　　令和　０２　年　３月　３１日

特定非営利活動法人　フォレストサイクル元樹

電話番号　　０９０-９６３１-１６１０
住　　所　　宮城県栗原市若柳上畑岡大立85-3

２０１９年度事業報告①

（平成３１年４月１日～令和２年３月３１日）

1.事　業　総　括

平成22年4月にNPO法人を立上げ丸10年が経過しました。本報告書では、2019年度(令和元年)決算及び2019年度に実施した事業の概略についてご報告申し上げます。

1. 令和元年(2019年)度決算について

元号が平成→令和に変わった最初の決算です。残念ながら単年度で150万円の赤字を計上するに至りました。前年対比で、助成金・補助金収入が約120万円、間伐材工房収益が約85万円の合計200万円強の収益減が響いていますが、支出合計は前年とほぼ同額で、事業全体の自主事業収益比率も57％で前年とほぼ一緒である。工房運営がコンスタントに150万を超える収益を出せる様になったことは、将来的には明るい兆しが見えていると実感。

岩泉地域でのホダ木生産を核とした森林整備保全事業も丸3年が経過し順調に推移しています。今だに毎年多くの労災重篤事故が発生している林業現場において、法人活動開始以降1度も大きな事故・怪我がゼロである事を振り返った時、その一歩手前は何回かあった記憶があります。
現在3名の専従スタッフが全ての事業に関わっており、その誰が欠けても法人事業の継続は危うくなります。これからの令和の時代より一層気を引き締めて安全を最優先し活動に専念していきます。

2019年度は国内においても歴史に残る大きな変化があった年でもありました。元号が平成→令和に変わった事です。ご崩御によるによることが通例だったものが生前に皇位を皇太子に引き継がれたということです。2019年は新たな幕開けの年でもありましたが、当法人においても幾つかの新たな展開、その先に大きな期待の持てる試みが実現できた年でもありました。
ドローンを活用した新たな森林調査方法のへのチャレンジ、いすゞエルフ1.5tトラック新車導入、法人初の工房製作品の委託販売開始、定期的な工房製作品の受注契約締結、今後に繋がる「木のたまごコロロ」生産設備の導入等詳細は各事業報告に記載致しております。

ドローン空撮画像1：コナラ密集地

ドローン空撮画像2：コナラ密集地

現在、フォレストサイクル元樹の正会員は12名です。NPOという組織形態での活動を今後とも継続するのにギリギリの会員数です。一昨年・昨年とも本報告書の中で申し上げたことと同じになりますが、”フォレストサイクル元樹の会員でいてくれる”だけでも皆様には感謝いたします。株式会社や有限会社等一般的な営利目的の事業者ではなく、NPO法人として目的実現に向け非営利活動を実施しながら事業を展開できるのは、NPOという組織でいられるからです。何かの機会がありましたら栗原の工房や岩泉にも遊びにいらしてください。法人HPの活動スケジュールは、翌月分は事前に予定を入れてあります。会員の皆様には、今後とも陰ながらでも構いませんので、継続会員として年会費にて応援していただけることを切に願っております。

２０１９年度事業報告②

（平成３１年４月１日～令和２年３月３１日）

2.-1森林整備保全事業について

事業全体の核であるホダ木生産は実績値で8,200本、昨年を約1,000本上回り3期連続で出荷数量が拡大しています。期のスタート当初は、同じ場所での施行で昨年と同程度の出荷数量が達成できるのか見込みが立たない状況でしたが、新設した3本の作業道が今年も大活躍でした。岩泉町での事業をスタートさせてから合計6本の作業道を新設しました。この作業道を次に使うのは最短でも15年先の2回目の施行の時です、今後とも毎年定期的な作業道巡回を継続し、道路として落ち着くまでは維持管理に努めてゆきたいと思います。

初新設作業道での作業画像①

初新設作業道での作業画像②

岩泉地域での100%広葉樹施行・ホダ木出荷は、試行錯誤しながらも様々な可能性を模索しながらチャレンジの連続です。森林調査、樹種判別、作業手順、作業方法、効率的且つ安全な搬出方法、集材方法、土場選定と管理、作業道新設・修復・維持管理、出荷用トラック選定と手配等々、色んな場面での試行錯誤・暗中模索が今も続いていますが、今年度は大きな収穫が1点ありました、それは出荷の際のトラックの選定です。グラップル付・ユニック車でも出荷しましたが、仕様によって土場での積み方や車への積込時のアクションが変わります、運搬コストだけでなく1回積載量等様々な事を総合的に判断しなけれななりません。今年度初めて大型箱車タイプを使い大口農家さんには出荷をしました。1台で2,000本以上積載可能で、全て手積みも人数がいれば短時間で積載完了できることを確認でき、今までの中で一番との確信に至りました。運送業者は地元事業者にて当法人の目指すことにも繋がっていきます。

大型トラック箱車へのホダ木手積み

箱車大型トラック：ホダ木満杯状態

２０１９年度事業報告④

（平成３１年４月１日～令和２年３月３１日）

3. 木質バイオマス普及活動について

2019年度は、山形県遊佐町のお客様と新規導入契約が成立。通常の流れに沿い内金入金の上薪ストーブをカナンに発注、ただ設置工事の段階で大工さんと屋根屋さんの確保が出来ず、工事のみ来期にずれ込んだ。普及活動は仙台中心部での「薪ストーブフェスタ」だけに留まり、活動当初から目指している年間複数台の新規導入顧客獲得には程遠い現状である。ストーブ用薪の需要は、年初早々にも新規で1件あり前期からの固定客は6軒を数える。期の終盤に60㎥ストックできる薪棚も敷地内に整備し薪ストーブユーザー対象に薪購入顧客増加を狙ってゆこうと考えています。宮城県に留まらず、岩泉町に行く際の経路である岩手県４号線沿線客もターゲットにしてゆくことで配達の効率化にも繋がること期待。

4.-1 間伐材工房運営事業について

2019年度は、年初の計画通り岩泉町内施行現場の流水を使い水中貯木乾燥の実証実験を実施した。地元の製材所(清水畑商事)・林業技術センター・職業能力開発大学東京校定成教授の4者共同研究の形で実施、広葉樹い板乾燥時の水中貯木有効性をデータ上で立証できればとの狙いだったが、結論的には相関関係を立証する事はできなかった。法人単独での検証で10㎜厚の輪切りは樹種関係なくほぼ100%材の狂いがない事は実績ベースで確立している。現場での乾燥において、最初屋根もかけず雨に当たりやすい環境下や日照の強弱、貯木や乾燥期間等まだハッキリしないことが多分にあり今後とも自社での検証を継続してゆく予定で、その為にも工房敷地内に専用乾燥棚を設置、今後は雨や直射日光が避けられ且つ風当たりの良い環境下で検証を継続してゆく。

２０１９年度事業報告④

（平成３１年４月１日～令和２年３月３１日）

４.-1　間伐材工房運営事業について

山の伏流水を使った水中貯木乾燥実験：板材貯木＆重量計測

岩泉の現場での簡易乾燥と間伐材ステーションでの乾燥棚での検証

4.-2 間伐材工房運営事業について

仙台市青葉区錦ヶ丘にある「感性の森」は、錦エステート株式会社という住宅関連事業者が運営する民間の木育施設で開館当初から興味を持ち、スタッフ全員で施設見学に出向いた。仙台市郊外の大規模開発住宅地の中のショッピングモール内建物の中にあり、内装や遊具玩具とも広葉樹を中心に様々な木を使用しており開放感に溢れ、平日でも親子連れで賑わい、毎月10組み以上の幼保施設の団体も来る。圧巻は木のたまご、ワークショップも定期的にやっており、委託販売以外でも何らかの形での連携を視野に委託品を拡充予定。

仙台市錦ヶ丘「感性の森」：圧倒的な数の木のたまごプール

平成３０年度事業報告⑤

（平成３０年４月１日～平成３１年３月３１日）

4.-2 間伐材工房運営事業について

工房が稼働してから丸7年が過ぎました。色々な木製品を商品化を目指し製作してきましたが、安定手にに需要があるのはウッドブロックやログキッズ、キューブやプレート等単純な作りで、且つ”木”そのものを実感できるものが受け入れてもらいやすいと感じている。間伐材工房にはプロ仕様の工作機械や電動＆手工具等ひと通り揃っているが、大量生産可能な製造ラインを持っている訳でも無く販売の為の流通経路無くイベント時展示販売やHP等からの受注製作が殆どであった。ここ数年当会の活動を応援してくれる仙台市の向山こども園からは、毎年一定額以上の受注を頂き毎年受注額を予算計上をしてくれている事業者である。

仙台市錦ヶ丘「感性の森」：常設委託販売

三越仙台店：フェリシモ関連の催事出店

向山こども園の様な安定的販路開拓も進めてきたが、今期から正式に「感性の森」での委託販売がスタート、岩泉町「よこて手仕事や」を含め新たな販路を2ヶ所確保できた他、英国ラッシュジャパン定番商品の木製スティックの継続受注が決まり2020年1月から毎年一定量を納品している(新型コロナ影響で5月～停止中、再開？)。そして今期、”木のたまご”を大量に製作できる「木玉製造機」を2台導入、枝や工房端材等未利用材から、色んな大きさ・形・樹種のたまごを量産できる機械です。大阪教育大学永冨教授が開発し、2回大阪まで足を運び、原型にも一部改良を施し年度中に数カ所での体験デモも実施、来期から普及に邁進してゆく。

「木のたまごコロロ」のプール＆色んなコロロ

２０１９年度事業報告⑥

（平成３１年４月１日～令和２年３月３１日）

5. 木育等木づかい普及事業について

仙台市館小学校新1年生歓迎行事：タワー作り競争＆ナイアガラの滝崩し

例年の定期的なイベントへの参加の他要請を受けての木育普及活動。仙台市新緑祭・多賀城環境グルーヴフェス・キリストこども(向山こども園)への出店・餅つき大会(向山こども園)・6年連続の館小学校新1年生歓迎子供会イベント・マイ箸づくり(若柳小学校)・薪ストーブフェス。イベント参加者・木製品購入者に共通する行動は、触れた後匂いを嗅ぐということ。木が好きな人、木製品に好感を持つ人は多いと実感。

向山こども園：キリストこども市

向山こども園：恒例の年明け餅つき大会

薪割り体験・ウッドブロック遊びはいつどこで開催しても人気がある。工房で製作している”フォレスキューブ”・”輪切りプレート”、今期から製作の”木のたまごころろ”も単純だが他であまり無い為人気がある。

仙台市勾当台公園：薪ストーブフェスタ

栗原市紫波姫小学校：マイ箸づくり体験